

1. 公開授業概要

日時 平成14年10月25日（金）9・10時限

場所 都立世田谷泉高校 調べ学習室

授業者 東京都立世田谷泉高等学校教諭

榎 茂喜 光森 佐和子

クラス 2年次Ⅲ部生 必修修選択

生物ⅠA（24名）・日本史A（15名）

授業形態 合同授業 アイム・ティーチング

助言者 田能村教育問題研究所

黒瀬 忠生 先生

参加者 会場校教職員を含め23名

2. 教材として取り上げた理由

現代社会では様々な結婚観があり、法律上の解釈を別にする、「結婚」の意味するものは漠然としている。しかし「結婚」が多くの人にとって人生の重要な節目であることは間違いない。また、ヒトが進化の過程において直立二足歩行を獲得し、背骨や骨盤が変化し、生殖や生活様式の変化がみられた。他の動物とは異なる、太古から続いている「結婚」は、私たちにとって非常に身近な生活文化・社会制度であり、これを取り上げることがは歴史的・科学的な見方や考え方の育成を目指した主題学習の題材として適当であると考える。結婚制度が当時の国の制度や人々の意識、経済状況と深い関連性を持つことを考察することで歴史的思考力を培い、また「結婚」という観点から自己の将来の生き方に思い至らせる目的で本教材を取り上げた。

3. 本時のねらい

本時は2時間構成の主題学習として扱う。はじめにブレインストーミングの手法により、「結婚」に関する生徒の意識を顕在化させる。

次に生物学的見地から、他の動物のカップリングとの比較を通して人間の「結婚」について扱う。また、わが国での「結婚」制度の歴史的な変遷を取り上げ、結婚制度とその他の社会の関連について考察する。

生徒の資料分析や歴史的・生物学的な基礎的知識の習得を通しながら、家庭や社会の一員として現在及び将来の生活において、諸問題に対し適切な意志決定ができることをこの一連の授業のねらいとしている。また、WHOにより示されているライフスキルのうち、クリティカル思考（情報や経験を客観的な方法によって分析することができる能力）及び効果的なコミュニケーションスキル（言語のトレーニングという面もある）。

学習指導要領の関連分野は「日本史A」の「(1)歴史と生活」の「A 衣食住の変化」「ウ 現代に残る風習と民間信仰」であり、「生物ⅠA」の「(2)生物としての人間」の「A ヒトの特徴」と「(4)親から子へ」の「A ヒトの一生」である。また、性教育では「家庭や社会との関係」の「結婚観」と「家庭における男女の役割・性役割」と関係が深い。

4. 学習の流れ

☆日本史A（計4時間）

江戸幕府の成立・江戸時代について調べる

結婚について考える・・・本時

☆生物ⅠA（計7時間）

ヒトの進化・頭骨と脳容積の変遷（実習）

背骨の変化とヒトらしさの発現

結婚について考える・・・本時

生殖とライフサイクル

5. 本時の指導展開

	学習項目	学習活動	備考
導入	自分の中の「結婚」のイメージ	○「結婚」から連想することば・ことがらをワークシートに記入する。 ○「結婚」の、メリット・デメリットについて、自分の考えをワークシートに書き出してみる。	○ワークシート1 ○資料 「大事なお知らせ」 ○ワークシート2
展開	「結婚」の生物学的意味	○他の動物の生殖について講義を聴き、カププリングの方法、オス・メスの役割について理解する。 ○講義を聴いて分かったことをワークシートに記入する。	○ビデオ 「生き物地球紀行」 ○ワークシート3
展開	日本の結婚制度の歴史	○奈良時代～現代の結婚制度について講義を聴き、その形態がどのようなように変遷してきたかをワークシートに記入する。 ・「通い婚」の形態についての講義を聴き理解する。	○ワークシート4
展開	奈良時代の「結婚」	・江戸時代の結婚についてのビデオを見て、当時の合理的なしくみを理解する。	○ビデオ 「万物創世記」
展開	江戸時代の「結婚」	・「離婚率の変遷」のグラフをみて、いつの時代のものか予測する。必ずしも、離婚増加が現代の風潮ではなく江戸時代に多かったこと、明治時代になって減少することをグラフから読みとる。 ・講義を聴き、家制度存続を目的としてつくられた明治時代の民法が「結婚」をどのように変化させたかを理解する。	○グラフ 「離婚率の変遷」 ○資料 「明治民法」
展開	明治時代の「結婚」	・戦後、経済成長が重視され男性は会社中心の生活を送り、女性は家を守るという結婚観が広まったことを理解する。専業主婦数の推移をグラフから読みとる。 ・現代社会では晩婚化・未婚化が進んでいることをグラフから読みとる。	○グラフ 「専業主婦数の推移」 「平均初婚年齢の推移」 「世代別未婚率の推移」
展開	「してみたい結婚」	○「結婚」が時代や社会によって形態を変化させていること、その変化が当時の国家の体制、社会状況や経済的要因と関連していることを理解する。 ○自分がしてみたい結婚、してもいい結婚について考える。またグループでそれぞれの考えを出し合い発表する。	○ワークシート5 ○発表用紙
まとめ	様々な結婚観	○発表を聴いて、気が付いたことや感想をワークシートに記入する。 ○授業の感想や「結婚」に関することがらで、気になることやこの先調べてみたいことなどをワークシートに記入する。	○ワークシート6 ○ワークシート7

※ 指導上の留意点

- ・生徒の家庭の実態に立ち入るような発問をしないなど、プライバシーの保護に配慮する。
- ・「結婚」について偏った考え方に陥らないよう、また価値観の押しつけにならないよう人権尊重の見地から指導する。

6. 授業の様子と生徒の感想

世田谷泉高校は平成13年度に開校した、チャレンジスクールと呼ばれる三部制ととる定時制総合学科の単位制高校である。入学者選抜に調査書も学力検査もないため、多様な生徒が集まっている。中には中退者もいるが、生徒の多くは不登校経験者である。また、家庭に複雑な事情を抱えている生徒も少なくない。そして、チャレンジスクールに来る生徒の特徴として、人間関係をうまく構築できない生徒が多いことがあげられる。そのため、多くの授業で少人数編制・習熟度別編制・チームティーチングなどの手法がとられている。また、単位制の総合学科高校であるので、生徒の興味・関心に応じて学習することができ、選択科目が多く用意されている。さらに、専門の担当者が常駐しているカウンセリング室やガイダンス室などがあり、生徒相談にも力を入れている。

今回の授業は、講義形式とグループワークをまぜながら、二人の教員で進めていった。性に関する事柄や今回扱った「結婚」については、複雑な家庭問題を抱えている生徒の中には嫌悪感や拒否反応を示す生徒もいるのだが、大多数の生徒にとって身近な課題であるので、興味を持ち学習を進めていた。グループワークでは活発にコミュニケーションをとりながら、意見をまとめていた。また、授業中の「どんな結婚がしてみたい？」の発表を聴いて、気が付いたことや考えたことをワークシートに記入させたところ、多くの生徒が、自分の意見と他人の意見を比較することができていた。以下にその代表的なものを生徒の原文のままあげる。

- ・それぞれの意見を聞いてみんな個々の希望があった感じた意見もありました。
- ・けっこうみんなポジティブな考えも持っている事が分かった。やっぱりみんな若い

ら、ある程度の理想を持っている事が分かった。でも、まだみんなまだ結婚に対しての実感を持っていない事が分かった。

- ・みんな結婚に対していろいろんな考えとか理想があると思った。でも結局はみんな結婚することによって幸せになりたいと思ってるんだと思えました。女の子の意見は“経済力”にけっこうこだわっていると思われ
- る。がんばれ日本男児！
- ・まったくちがうかんがえかたをする人がけっこういました。わかるぶぶんもあります。とても、夢だなと思うかんがえの人が、あれはないのではと思う。結婚はしてみないとわからない！結婚をしたくないと言
- う人も、きょうみないと
- 言う人も。皆、以外と深く考えてるんだなあと思った。理想と現実
- は違くと、つくづく思ったよ。
- ・みんな人それぞれ結婚についての考え方はちがうんだなあと思
- いました。

授業の最後にワークシート書かせた生徒の感想では、単に知識を得る授業ではなく、今回のような他の生徒の考えを知ることの出来る授業に興味を持ち、楽しんで学習をしたことがうかがえる。以下に代表的なものを原文のままのせておく。

- ・まだ結婚についてはまだ興味はありませんが今日の授業でだいぶ参考になりました。
- ・もつと時間があればお互いの意見などを交換できるのではないかと思
- いました。動物も人間と同じような部分も持っているけど違うところも持っている。結婚ってなに!? 結婚したい!!
- ・結婚生活にはどんなことがあるのか
- わかった。多くの苦楽があるんだな
- と思った。
- ・みんないろいろビジョンがあ
- ってそれをか
- い
- み
- る
- こ
- と
- が
- で
- き
- て
- 楽
- し
- か
- っ
- た
- 。
- 先
- 生
- た
- ち
- (
- キ
- コ
- ン
- 者
-)
- の
- 意
- 見
- を
- 参
- 考
- に
- な
- っ
- て
- よ
- か
- っ
- た
- 。
- 自
- 分
- も
- 意
- 見
- が
- あ
- る
- よ
- う
- に
- み
- ん
- な
- の
- 意

見もあってたのしかった。こーゆーじゅぎ
ようはもつとあつてもよいと思う。

・いろいろな視点から『結婚』を見れて良かった。結婚って言葉にするのは簡単だけど、生まれも育ちも違う2人が生活していくものだから本当に奥が深いものだと思った。

幸せな結婚ができますように・

・結婚ってむずかしいけど愛し合った二人がいればなんでものりこえていけるう…

・今日、結婚について考え、勉強したけど、結婚については、今回初めて考えたわけではなくて、以前から考えていたりしてたくさん、小さい時からあらこがれていたものなので、早く結婚したいです。みんなの意見をきいてみて、興味の無い人もいるんだなあと思つて、びっくりしました。

・けっこんはこれだつてゆう答えもないし、自分のいしぢやなくて相手の意志もあるから大変だ。

7. まとめと今後の課題

高等学校では『性教育』の目標として以下の3点があげられる。

①男または女としての自己認識を確かにさせるとともに、異性に対する認識を深めさせる。

②人間尊重の精神に基づいて男女の人間関係を築くことができるようにする。

③家庭や社会の一員として生きていくうえで必要な人間の性に関する基礎的・基本的な事項を習得させ、現在及び将来の生活において、性にかかわる諸問題に対して、適切な意志決定ができるようにする。

これらの目標を1つの教科・科目の授業で行うことは不可能であり、学校の教育活動全体で計画し実施して行かなくてはならないものである。しかし、性教育は保健体育や生物で扱うものだと考えている教員も多く、教

員の問題意識が低いのが現状である。性教育の目標の達成のためには、学校教職員の一致した指導体制と性教育の教育課程の作成が必要である。今後は、生徒に対する指導だけではなく、校内研修などを通して教職員の意識を高めていくことも重要になると考える。

また、学習の効果をより高めるためには、総合的な学習の時間の活用や複数教科での横断的な学習活動も必要であると考える。今回初めての試みとして、性教育の授業として日本史と生物との合同授業を行った。このような他教科との合同授業は、1つのトピックスをより総合的・横断的に学習することができると、さらに、性に関する事項を多面的に扱い、複数の教員で学習をサポートすることにより、ライフスキルトレーニングの効果を一層高めることが期待できる。

WHOは、1994年にライフスキルの主なものとして次の5つの領域を挙げている。

- ①意志決定および問題解決スキル
- ②創造的思考およびクリティカル的思考スキル
- ③コミュニケーションおよび対人関係スキル
- ④自己認識および共感性スキル
- ⑤感情対処およびストレス対処スキル

これらのライフスキルをトレーニングすることは、生徒の自尊感情の育成に大いに役立つと考える。地域社会や家庭での教育力が低下していると言われている現代では、学校教育での人間教育が重要となってくる。より多くの活動を通して生きる力を育むことが大切であると考える。

今後は、学習内容や指導方法などの研究だけでなく、今回の研究を基礎として、複数教科・科目との連携や合同授業などのクロスカリキュラムの研究と、チームティーチングのより効果的な活用方法についての研究を進めるつもりである。

生物 IA・日本史 A ロークシート

月 日

組 学籍番号 氏名

1. 「結婚」から連想されることは・ことから書き込んでみましょう。
 (関係の深いものは線でつなげましょう)

— 結 婚 —

2. 「結婚」のXレット・Zレットを書きえてみましょう。

X Z X	Z X Z X
-------------	------------------

3. 他の動物と「下の結婚」の断いについて知てめましよう。

4. 日本の結婚制度の歴史についてまとめましょう。
○奈良時代

○江戸時代

○明治時代

○現代

5. 「どんな結婚をしましたか？」

どんな人？ どんな生活を送る？ どんな家風？ など...

○「どんな結婚をしましたか？」が記入できたら、グループで発表用紙に結果をまとめてみましょう。

6. 「どんな結婚をしましたか？」の発表を聞いて、気が付いたことや考えたことを記入しましょう。

7. 今日の授業で学んだ感想を簡単に書きましょう。